

□議員名：中島好人

1 省エネと自然エネルギーで「原発でゼロ」の社会を

論点	市長は、大飯原発再稼働をどう考えているのか。
回答	原発はどんなに怖いものか、チェルノブイリの教訓を学んでないというのが率直なところだ。抽象的な政治論議は意味がない。『電力需要をどうするのか』という議論をするが、国民みんなが協力をして15%の節電を実現して需要を減らして、胸を張って時の政権にぶつきたい。

論点	市内 5,200 ある自治会設置の防犯灯に節電対策と維持管理費の軽減のため、宇部市が実施しているLED導入補助制度を創設すべきではないか。
回答	LED導入がH22年度と比べH23年度は4倍以上伸びており、蛍光灯と逆転している。さらに普及が進むとともに価格も下がる現行の「防犯灯設置補助制度」を見直しLED化の促進策を検討していく。

2 子育て支援について

論点	乳幼児医療費無料化助成事業は、山口県下13市中10市が所得制限撤廃や対象年齢の引き上げを実施している。「子ども医療費助成制度」を拡充して、安心して子育てできる環境を構築すべきではないか。
回答	他の自治体の例を参考に制度を研究している。乳幼児医療助成制度の拡充は子育て支援策として有効な制度であるが、財政状況の中で実施は難しい。 所得制限の撤廃と言う方向ではなく、対象年齢の引き上げについて検討の余地はある。

論点	今年10月から中学校の体育必修として柔道が取り入れられるが、柔道着購入に就学援助制度を加えるべきではないか。
回答	県内では1市だけが就学援助の対象としているが、本市では直ちに制度の対象に含める考えはない。

### 3 生活保護行政について

論点	芸能人の母親が生活保護を受給していたとして、生活保護バッシングがあるが、受給要件ではない扶養義務などを理由に保護が必要な人が排除されることがないようにすべきである。
回答	国の実施要綱に基づき、生活保護が必要な方が受給出来る体制を維持していく。

論点	人権侵害的な指導をケースワーカーが行っている例があるが、これを質すべきではないか。
回答	4月の担当者移動の引継ぎが良くなかった、あってはならないことだと思う。ケースワーカーを1人増員して配置し、少し余裕ができたので、自立に向けた援助を行なっていく。